

## 取扱いの趣旨

副甲状腺ホルモンの分泌に直接影響を及ぼさない傷病名に対するPTHの算定は原則として認められない。

## 支払基金が公表している取扱いの全文

### 【検査】

《令和6年6月28日》

### 211 副甲状腺ホルモン（PTH）の算定について

#### ○ 取扱い

- ① 次の傷病名に対するD008「29」副甲状腺ホルモン（PTH）の算定は、原則として認められる。
  - (1) 続発性副甲状腺機能亢進症
  - (2) 特発性副甲状腺機能低下症
  - (3) 偽性副甲状腺機能低下症
  - (4) 自己免疫性多腺性内分泌不全症
- ② 次の傷病名に対するD008「29」副甲状腺ホルモン（PTH）の算定は、原則として認められない。
  - (1) 甲状腺機能低下症
  - (2) 低マグネシウム血症
  - (3) サルコイドーシス
  - (4) 尿管結石症
  - (5) 甲状腺機能亢進症
  - (6) 骨粗鬆症
  - (7) 腎不全

#### ○ 取扱いを作成した根拠等

副甲状腺ホルモン(parathyroid hormone: PTH)は、副甲状腺の主細胞で合成・分泌され、カルシウム及びリンの代謝を調節している。血中のカルシウムが低下すると分泌が促進され、骨吸収亢進によるカルシウムの動員および腎細尿管でのカルシウム再吸収の亢進を解して血中カルシウムを上昇させる。

上記①の疾患はいずれもPTH分泌異常を伴うものである。また、上記②の疾患はPTH分泌に直接影響を及ぼさない。

以上のことから、続発性副甲状腺機能亢進症、特発性副甲状腺機能低下症、偽性副甲状腺機能低下症、自己免疫性多腺性内分泌不全症に対する副甲状腺ホルモン（PTH）の算定は原則として認められ、甲状腺機能低下症、低マグネシウム血症、サルコイドーシス、尿管結石症、甲状腺機能亢進症、骨粗鬆症、腎不全に対する算定は原則として認められないと判断した。

## 検証結果及び対応状況

検証観点	フォローアップ対象都道府県	備考
①適正な審査割合が低い	岐阜、岩手、愛知、三重、宮城、島根、鳥取	適正な審査割合の低い順
②請求どおり・職員	岐阜、三重、愛知、宮城	対象1万件当たり件数の多い順
③請求どおり・審査委員	鳥取、岩手、島根、宮城、三重、岐阜、愛知	//

### ■①から③を通して、請求どおりのレセプトを適正な審査と判断した主な理由

- ・傷病名より、ビタミンD欠乏症等や副甲状腺機能の評価が必要な疾患に対して当該検査を行っていることから、妥当と判断した事例

### ■取扱いと異なる審査の多い都道府県の対応状況

①適正な審査割合が低い：職員及び審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒上司から教育及び審査委員長から連絡・再周知

②請求どおり・職員：職員の認識誤り（失念、誤解等によるコンピュータチェックの解除）

⇒上司から教育

③請求どおり・審査委員：審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒審査委員長から連絡・再周知

2024年11月～2025年1月審査分

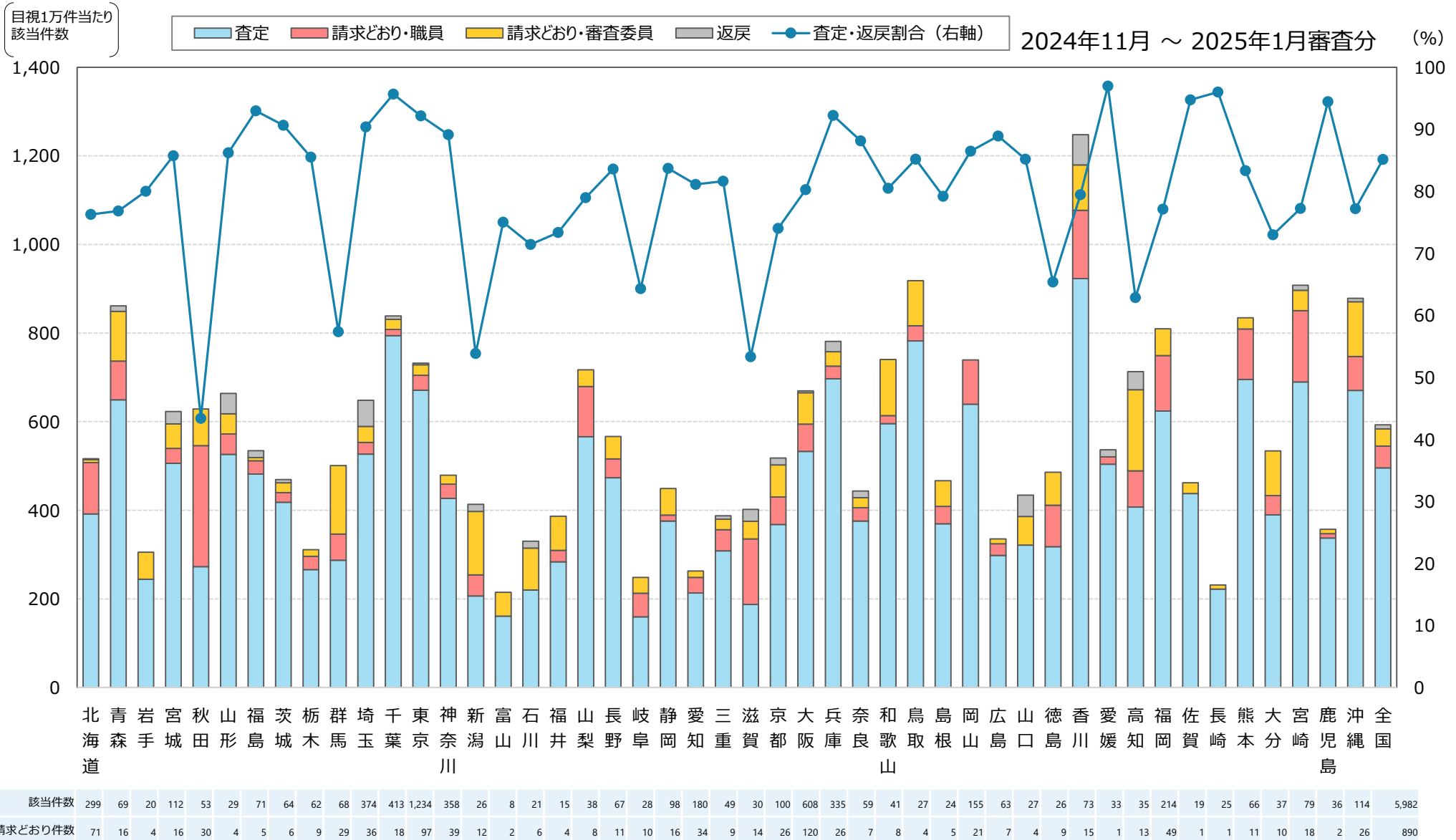
該当件数に対する検証結果

検証の結果、該当件数5,982件のうち、**取扱いと異なる審査は193件（3.23%）**  
検証対象40都道府県のうち、**フォローアップ対象は7都道府県**

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
		計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
					査定	返戻	査定 返戻 計				
							詳記等 から適正				
01 北海道	299	292	97.66%	227	1	228	64	7	2.34%	7	0
02 青森	69	66	95.65%	52	1	53	13	3	4.35%	2	1
03 岩手	20	16	80.00%	16	0	16	0	4	20.00%	0	4
04 宮城	112	98	87.50%	91	5	96	2	14	12.50%	6	8
05 秋田	53	53	100.00%	23	0	23	30	0	0.00%	0	0
06 山形	29	27	93.10%	23	2	25	2	2	6.90%	2	0
07 福島	71										
08 茨城	64										
09 栃木	62	56	90.32%	53	0	53	3	6	9.68%	6	0
10 群馬	68	68	100.00%	39	0	39	29	0	0.00%	0	0
11 埼玉	374	357	95.45%	304	34	338	19	17	4.55%	15	2
12 千葉	413										
13 東京	1,234	1,212	98.22%	1,131	6	1,137	75	22	1.78%	0	22
14 神奈川	358	356	99.44%	319	0	319	37	2	0.56%	0	2
15 新潟	26	26	100.00%	13	1	14	12	0	0.00%	0	0
16 富山	8	8	100.00%	6	0	6	2	0	0.00%	0	0
17 石川	21	21	100.00%	14	1	15	6	0	0.00%	0	0
18 福井	15	15	100.00%	11	0	11	4	0	0.00%	0	0
19 山梨	38	38	100.00%	30	0	30	8	0	0.00%	0	0
20 長野	67	66	98.51%	56	0	56	10	1	1.49%	1	0
21 岐阜	28	22	78.57%	18	0	18	4	6	21.43%	5	1
22 静岡	98	93	94.90%	82	0	82	11	5	5.10%	3	2
23 愛知	180	154	85.56%	146	0	146	8	26	14.44%	24	2
24 三重	49	42	85.71%	39	1	40	2	7	14.29%	5	2

都道府県	検証結果										
	該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）			
		計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻			取扱いの 認識誤り 合計	取扱いの 認識誤り の割合	職員	審査委員
					査定	返戻	査定 返戻 計				
							詳記等 から適正				
25 滋賀	30	30	100.00%	14	2	16	14	0	0.00%	0	0
26 京都	100	95	95.00%	71	3	74	21	5	5.00%	2	3
27 大阪	608	592	97.37%	484	4	488	104	16	2.63%	11	5
28 兵庫	335	323	96.42%	299	10	309	14	12	3.58%	8	4
29 奈良	59	57	96.61%	50	2	52	5	2	3.39%	2	0
30 和歌山	41	41	100.00%	33	0	33	8	0	0.00%	0	0
31 鳥取	27	24	88.89%	23	0	23	1	3	11.11%	0	3
32 島根	24	21	87.50%	19	0	19	2	3	12.50%	0	3
33 岡山	155	149	96.13%	134	0	134	15	6	3.87%	6	0
34 広島	63	60	95.24%	56	0	56	4	3	4.76%	1	2
35 山口	27	27	100.00%	20	3	23	4	0	0.00%	0	0
36 徳島	26	25	96.15%	17	0	17	8	1	3.85%	1	0
37 香川	73	72	98.63%	54	4	58	14	1	1.37%	0	1
38 愛媛	33										
39 高知	35	35	100.00%	20	2	22	13	0	0.00%	0	0
40 福岡	214	207	96.73%	165	0	165	42	7	3.27%	6	1
41 佐賀	19										
42 長崎	25										
43 熊本	66	65	98.48%	55	0	55	10	1	1.52%	0	1
44 大分	37	36	97.30%	27	0	27	9	1	2.70%	1	0
45 宮崎	79	77	97.47%	60	1	61	16	2	2.53%	2	0
46 鹿児島	36										
47 沖縄	114	106	92.98%	87	1	88	18	8	7.02%	2	6
全国	5,982							193	3.23%	118	75

※グレーは検証前データ又は検証の結果により、少数事例に該当



【該当件数】甲状腺機能低下症、低マグネシウム血症、サルコイドーシス、尿管結石症、甲状腺機能亢進症、骨粗鬆症又は腎不全に対し副甲状腺ホルモン（PTH）を算定しているレセプト件数